

【第2回あまつなぎ研修会】

平成30年4月19日（木）15:00～17:00

ハーティホールにて、第2回あまつなぎ研修会を開催しました。

117人の多職種が集まり、あまつなぎにご相談があった事例をもとに、「かかりつけ医の役割」を理解し、在宅での医療と介護の連携を一緒に考えました。



【今回研修の目的】

- ・他の職種、特にかかりつけ医の役割や、考えを知り理解を深める
- ・多くの多職種と交わり、意見交換し、顔の見える関係をつくる。

(1) 事例紹介

ほぼ寝たきりとなり褥瘡が悪化、うつ症状も進行、食欲も低下してきた。早急に皮膚科医受診が必要になり、ケアマネが病院の主治医に相談したものの、専門外で対応できない。

(2) グループワークで意見交換

①在宅で、褥瘡悪化時にはどのような対応をされますか？



- ・訪問看護 St に訪問できる皮膚科医を紹介してもらう。
- ・食欲・栄養改善、うつ病を専門的に見てもらえる内科医を紹介してもらう。
- ・褥瘡増悪予防のために訪問看護師を利用する。
- ・訪問してくれる皮膚科医を探す。
- ・福祉用具を検討する。

② 患者・利用者が他科を初めて受診される時は、どのような流れで支援されますか？
また、どのようなことに気をつけておられますか？



- ・訪問看護師やケアマネから、医院の評判を聞いて他科の情報を得たい。
- ・まずは主治医に相談、主治医から紹介あった医師につなぐ。
- ・病院に受診して、在宅医を紹介してもらう。
- ・医師が訪問する際には、ケアマネや家族が同席する。
- ・複数科受診している人の場合、誰が主治医かわからない時もある。
- ・初めから家族に訪問診療してくれる医師を勧めている。

(3) 「かかりつけ医の役割について」

尼崎市医師会地域包括ケア担当理事 夏秋恵 医師

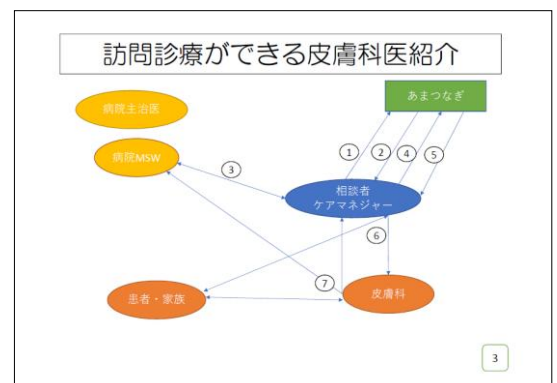
【かかりつけ医とは】

なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医や専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになり、地域医療・保健・福祉を担う総合的な判断力を有する医師。



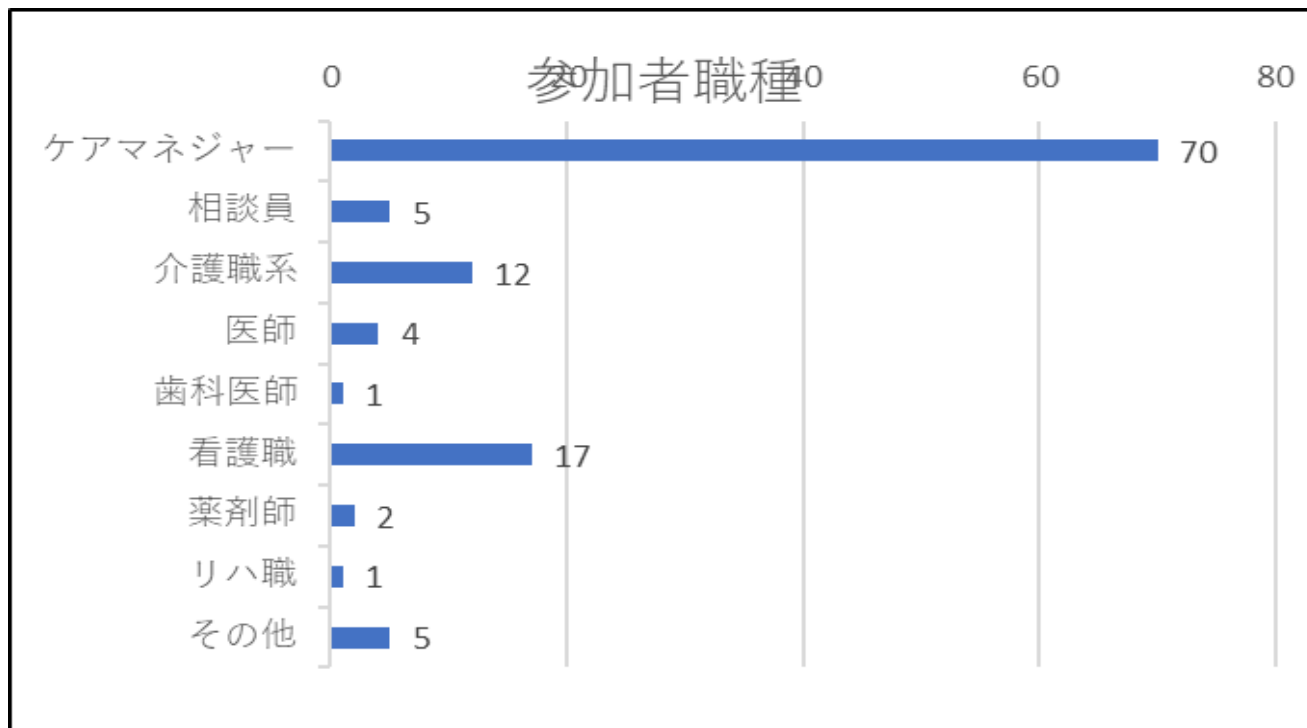
(4) あまつなぎでの在宅医紹介の流れの説明

- ① ケアマネからあまつなぎへ皮膚科医の紹介依頼。
- ② あまつなぎからケアマネへ助言。
- ③ 「病院へ連絡し、主治医または代わりの医師に相談する。」
- ④ ケアマネから病院に相談したが、主治医不在のため受診は困難。
- ⑤ ケアマネよりあまつなぎへ再度皮膚科医の紹介依頼。
- ⑥ あまつなぎより、皮膚科も標榜している在宅医3件を紹介。
- ⑦ ケアマネが患者・家族と相談し、皮膚科受診。
- ⑧ 入院治療が必要とのことで、本人・家族希望で主治医のいる病院に入院となる。



クリックすると図が PDF で拡大表示されます

(5) 参加者職種



(6) 参加者職場

